総ての環境が

当村でなりはせんだろうか?、

で、他|既も最悪の條件をもつ参期|とを認識して居り。如何に|奏体調査を提唱して米たが|限前の事象にこだわつては

|吸する ||企業 であるこ。昭和二十 | 年以來私はこのこれまでになるにはとても

起れが別は追われ者から抜け出しして、商品経済、消費社會今だに本腰を入れるグルー

出來ないであるう。

よりも一歩を

なくなり易い。ケオルギュ食つてスターリンは「その」となり見にが申し合せた機に彼略ならない。

織や機構が複雑になるとこ[る] と云つたきうだ。 ウが[廿五時]に云う如く組|国民の短所は旣を長所であ]

-以下ポイは五年以下総本 れた森林で共の他は普通林(等に対し指導権を持ち得る)卒業

してよい木である、これは|者が自由に経営することが

(森林・西片)

目を主とする。

迎 り

| 〇昼川部家庭科

右見童(桐谷高郷仙田村に

計夫、兖一四五

届出をして伐る|出來ます。

村百年の大計を盛つ|つてこれを半ばあきらめて

|環境に從うのでなく、自らりとうかどうことが出來たく指くとして、

うとしていることをありあ

|けの計画樹立に総好の機会|ンに考へ早くも実行に移を|に思つている。

ではなかろうか?。

村百年の大計を望む

|森林計画保安林その他森林||ことになつています。

指導権を持ち得られる

森林伐採には必ず手續をぐ

不材業者に對して

行 発車 所水水

人學試験 = 三月二十三日

減験科目=中学の全科目

母月の所要経費⇒授業料 めて約二百円、他に教生徒会費、教材費を含

旅行する時は华額割引 一二代耶で百粁以上 (亳月末調査) 四計

科書、学用品、等

市別分校 五 下山分校 四

纷がもらえます

|の協同組織の制度を定めて||合は一月米日までに許可の||九二〇石普通林では用材12||コース選択上の参考

| 森林の保護と生産力の均進申請書を出して許可があれ| 五六〇石薪炭四七五〇石で| ⑤昼間部普通科

森林計画とは幼命林を特代|森林計画では保安林背頭林|昨年四四半期の許可申請の|◎昼間部農業科

|に関する事項及森林所有者|それ以下樹合の木を伐る場||伐採立木許容限度は保安林

昭和二十七年度の松代村の

には1年以内に遗称するご指定された森林であり特用無手続後採には間見られていませんご中間で農業及び必須科目一流沢分校 三には1年以内に遗称するご指定された森林であり特用無手続後採には間対しません三中間で農業及び必須科目一流沢分校 三すること皆伐した伐採跡地あります。保安林は公然上額しか申請されていません三中間で農業及び必須科目一流沢分校 三かること皆伐した伐採跡地あります。保安林は公然上間しか申請されていません三中間で農業及び必須科目一流沢分校 三かること幼命林の手入を自家用林特用林と大別して狀況では用材一割薪炭で六年限は普通と同じA組と、 海老分校 三次科目面とは気命料を持伐森林計画では保安林普通林昨年四四半期の許可申請の◎昼間部農業科 伊沢小学校 10 次科目面とは気命料を持伐森林計画では保安林普通林昨年四四半期の許可申請の◎昼間部農業科 の目的であります。 れば伐ることが出來ませんいます。 資格を得。後は自由研究。 桐山分校 〇の発展に資するのが森林法保安林はすべて許可がなけ三〇〇〇石の減少となつて四年目の九月末で一応卒業 済水小学校 八を図り国土の保安国民経済 ば伐ることが出來ます。 合計八二三〇石で例年より 週五日制四年卒業。 但し第一 ※平分校 七 000055577555 六|午后四時散会した。

二、村長、助役 收入役及 議决された事項は次の通り 副收入役並議会議員に対

る條例の一部を改正する する年末手当支給に関す となった。

| 年報末は七十一年以上は「て自家用林の指定を受ける」力により殆んど出揃ました「> 同様であるが。教科内容||学前身体検査を三月三日よ||四昭和二十六年度本村蔵人| **場百五十万余円の** 追加予算議决成る

|適性伐明と伝いまして伐採しとが出來ますこれは所有||ことは喜びに構へません。||は主婦として必要な家庭科||り六日間実施する日程次の|| 歳出第八回追加予第 五昭和二十六年度本村国民第四号総案として議決され

これ絶臭体調査はしばらの果私なくしては到底為 に不断の研究と改良と努力 池尻雪中派出校の

得ないものと云えよう。

|礼等に追いまくられて、機(この公式が通用するものと)||佐色智で入って子|| 「いくとしてよります。 とこして見なくのはこれに負う所が少な|以上側を農業生産に取った||にもあり、その原因は一里で保健施設役 || 「中国の大きないのでは、「中国の大きないのでは 「中国のでは、「 は、技術的多收獲の農法をおそらく統計的な社会的鐵土で世界的農業に互して行とを心から繁む次第だ。 |彼のイギリスがあの欲い国|だけの指導者を掘り出すこ 等より、地元負担の関係等 施設の充実、人件費の問題

松代高 募集*

三月十日迄しいる。

小学校

四時まで菅刈分校

三月四日午後三時より午後午まで下山を下山分校 年まで犬伏孟地学島を伊浜|年池尻を松代小学校

三月七日午前十一時より正

一地方財政平衡

で表の**、**000 は、一個の

三元(00)

稅

100元

ち、光三、高温

三月四日午前十一時より正三時まで松代小院戸太平干を片側山派出校。三月六日午後一時より午後

三月六日午後一時より午後

ŊŢ

П

既定于算

Ø)

まで片綱山中子程長の兒童(まで選挙を選挙分校

午まで桐山清水会沢を清水 小屋丸分校

小学校

三月五日午後三時より四時まで東山海老を海老分校

三月八日正午より午後一時

(英語を余く) の全科目 か、入学案内を請求された(全縣一齊)共の他詳細は学校に間合す か、入学案内を請求された

百四十五名となるク 今年の小学校入学児童で 身体檢査日定决る

土地

0 買

等

追 加豫算

昭和二七年度第一回定例

に於て招集開會され十二日 一回定例村職会が本村役場六、小学校分校設置の件 |月十一日午前十時より第| ▼清水小学校敷地を 入歲出第二回追加予算

三公 債 費 上一選 举 设 一、営籍投 DIX, AND, E 三宝、20 三、瓷盆 一流、芸 小五五

古、諸支出金 主、地方振興費 歳入歳出差出残金なし 歳入歳出差出残金なし 今回の追加予算は次の通り 國民健康の特別会計 一万四千円余の追加 智元六 哥哥一院 北,000 「「生きな異」へ「全」「悪智内」(項目消暑) 1000年 お、空 五

一「過年度收入」「第7 F.雜 收 入 天禄 越 金 一、前年度線越金 四、6里 歲入合計 三、CSI、公里 紋 荗 H 鼓入の部 Ø 既定予算 部 追加予算 X*0X0 个竞 ハ、大荒田 三公(0) 医三 * 素3 · (二

れだけに限られていないこを設置して、これ終十才以下松代本校の学校誌の問題。直得議の上宗村議会では は私の云おうとする所がこ耳機であるから、癌非分校の懲惫と努力に関ったもの含んでいるものであるから 下の兇策の動学の困難さを将来の存在等、本物中心に校覧能の総決となった。

三月五日午前十一時より正後三時まで小屋丸池之畑を「過年度補助金 三月七日二時三〇分より午三数育費補助 一国邱支出金 一元学(100 一类。100 で数 **一人**発 10,000 へ発

版 入 合 計 度補助金 Ш 既定予算 部 追加予算 10,000

设一个0500 一六、七三三、五四七、四一、五二七、九九四一人、二五一、五四 一葉、野菜 三天语 四、四、近 天曜く芸 000,410,

N. 松代高等学校發一、101、至五 三、松代中學校收了與公、完全 天教 育 班四三年 0世 | | フニ清水小学校设置II JOD 松代小学校设立、艺 业 古、公量 000 一三二元 八語 型公 팔 **些** 众 置瓷 至、益盛 (美) 第1 554,04 **学会37**411 一至大型0 いいいい 、一覧では 元 100 **党兵、030** のが、海温 愛口 三型 1914,041 昭れ、八党 (4) [2] |型、公] 公宝 三(00)

一、保険施設費 二六、三〇 漱羽 戦出合計 三、70至、7月間 競入競出差引残念なし 一个、天民 既定予算 追加予算 西、公姓国 一四、大九四 画、乔治 三、公司、西南 100分指 10年、花岩

|果に払く対策を述べて各農

に掲載するとゝるにこの街 日を娶しますので現在迄に て居りますが松代村の全耕

温度に少い〃一九〇〃

であります。

微酸性 中性のところ 調査したものゝ結果をこゝ

|地を調査するには相当の時

|幼加里の含量程度を調査し

二鉄分

少いところ

五五 七莊%

3,4 * 松代村の水田 産業經 土壌形態から 2.00 c 40

観た施肥上の注意

に必要な根本條件とも云うつて際度を弱める必要があ 全に生育して開花結実する||極戦にの照い所は石灰を使 ればならぬことは苗が植え、殆んど考慮する必要がない。柏を作る場合先す考えなけ、物だがら水田の場合酸度は られて根を伸ばし茎斐が完し云われているがそれでも き田の土がどんな形態に|るし当地方の場合等は年々 カリ性又は硫酸を含まない | 好客人する必要があると 石、硫加等)を使わずアル つた粘質上を反当二千貫内 もに酸性の金肥(硫安、渦

殿皮、鉄分、有効燐酸、有是非施川していたゞきたい亚一般農家の協力を豁めて 反当─○──五ノの石灰は 良し

强度に少い極少い

中等及。 稍少い 〃

樹少い 〃 五八趾〃中等皮 〃 二五〃

□○□|尙燐酸、加里肥料の施用に

|歌の韓処方を嬰認する次第||右の結果からすれば本田の||会ある皮に申述べて来たの| どいようなところでは加里 は弧度に不足しているとい「次上昇の傾向にあるがそれ」ることもよい)又は止むを 約八割は鉄分が極少いか又|で最近では其の施用量も漸|肥料の一部を想肥当時にや|

水稻は極めて酸性に強い作分を下層に沈下させるおそは水稻以上であるからこれ||一〇〇〃水稲の必要とする各種の成偽畑作に対する燐酸の効果う注意して戴きたい。||出版をだけ明に合せな弧酸性 〃 七〃飲分が不足すると必然的に程度施す必要がある。| 出來るだけ明に合せな 金額保険金が决定した本村す仕組である。(組合の中の一二四組合がした時は共済掛金基税を返 出來るだけ間に合せないよ す

|拂は二月下旬迄に完了のの|済金額について七〇〇円最| の共済金も被害農家えの支共済掛金装金は一万円の共 建物共済実施 節しいことは直接共済組合。 節色が青ざめ食慾があつてられ神経衰弱のような症狀高共済金額三〇万円である。 ໝ虫 起って來て隱臥がさまたげ えお野ね下さい。

◎寄生虫があなたの

子供に多く脇内に寄生し就

ギヤウ虫

| 床後おしりの穴の廻りに出

身体中にいるとくてくるのでひどいかゆみが他

会

沢四〇四四一六 》三

具体的な本年度計画は協議一部落の進步的精神は賛美に

水五九四 六八四 〃46戸当り玉櫚一〇玉供出農家

中でいるが大体供出農家一

事を読んでオイラも来年か

値するものと思う。此の記

も肥らぐ又反対に食慾がなど呈します。幼兒では夜尿

切に耳る炎天の爲め本村でという数字を示しており被…

水稻共済金支排確定

は水稲の全耕地の約六割以害農家江四六〇戸支拂共済 |七月十八日以降八月未迄四|〇%の虫害、共の他の六%|

上が被害を受け改遇なるも|金は七四〇万円の巨額であ

三 新らしい

・ドドラできょこ費うもご用にほり出点が高委員が大男もドリトニを用したドドラの異常的同組合では左配ふだん食べる気にならないを切つてお奨めする葉りがゆる箇所に亀裂を生する数皮切りに二週間以上の長期い建物共済として、現行短火介農業**第八回栄養定期貯金**でないかと思われる様な症と吸ってお奨める誤り自信といわず農道といわずめらる。 本村でも九月十六日を 襲屋の要談により、新らし**禁 第八回栄養定期貯金**でないかと思われる様な症と呼っています。のは出穂も不能に陥り耕地り持金の約二倍に昇つてい 天済組合では廃連合会及び || 毎は記憶に生々しい処であ局的見地に立ち技術的評價 度内に実施する予定でよる|| 丁年來の大旱魃に襲われた間に宜り損害評価委員が大期共済の外に長期共済を年 では、アー思うしいと、「ここ。」くなりだん!~やせて結核症の原因となることもあり「何くなりだん!~やせて結核症の原因となることもあり何

|の約八%| その中早魃に似愈る郡全体の一割をこえて|から繭一を年として契約鮮 の通り第八個栄費定期貯金のを好んで食べたり瓜をからります。 秋になります。特に子供は「お腹の虫に関する肌り自信」来

紅 換 取 担 取 扱 期 間

三月十五日迄よく貧血を起します。又類ます。 三月二十一日四が若白になり息切れや助良くきく山下しを一人でも 一千四六カ月季がする様になり風も光沢多く春む事ははれだけ情機

少総被書面樹の約七○%を及び縣距合会、農林省の幾に更新し長県日及よもので

いるこの数字も漸く郡段階隊をしてい

段五每年自動的

鳥三三○ 三五一 〃〓 を考え合わせるときこの選 てあるのが松であろうと杉

||実||パーのるが春山迄の長い一服こる必要もないのじやないか TII) / 12動け多少時期遅れの嫌いはであるうとあまり気に止め 子一〇三一一門。北三〇万円を適かに超えること

|| (代一八七二三一 〃鱧落を対象として褒賞側も考だから折角目出度い正月に|| 老二六二 三〇二 〃昊月 老二六二三〇一 〃売特に不年は生産農家及び部 常に感情に左右される動物

昭和二十年産の物を現在価でしまえばそれまでだが、

平一三二一四八 〃 空玉の村外移出を目標として「お講まれである。 礼にむ山一五六 二一三 〃 写力があれば松の木保護上載山一五六 二一三 〃 写力があれば松の木保護上載山一五六 二一三 〃 写力 と云われる

で問題となるのは人間は非に結構な事である。只此処

山九七一〇二川がる。

があるので春作には普通からは畑作にも燐酸肥料全 冬ミ家畜 0 築養につ

7

心は禁物です。

五五円たりしては松代の卵の名に

のものと大套ないが刈取場。使う機にしてほしい

に見劣りのする俗に言う秋

有効加望

三、Oが||本期間単調な飼料で越多し||に滚出しても告さんはあの| 三二%とを考いうれると思います 五〇%管理に大きな欠点があるこめば花が散るどころではな 一二%を見るつにけ冬期間の飼養風はれますこれでは駒が勇 、五分年々細で行き春になつて怪馬はあの作はどうも怪しい頭価も底をついたかばつば |しげな步様と怪しげな格好|とお気付の事が層々あると v つ上つて来始めた様に思わ どこ迄下るかと心配された れます。 卵価の見透しは!

中勢度 極少い

稍少い

温度に少い

計

稍良し

合とも云う)を反当10~三合)の約一割程度の施用しました。こと、「一般に改めるべきである。倚われる反当二貫(加里皮伊う場のれて下で、なつて來る。る今からでも植物蛋白の多り惜しんで凍せたり古くしいのの というである。倚われる反当二貫(加里皮伊う場所は小さくなつて來る。る今からでも植物蛋白の多上るのを待つて完る様な完善的に改めるべきである。倚われる反当二貫(加里皮伊見からに哀れにヤキ臓器のと編集のため起る網架であ上るのを待つて完る様の掛けて下さい。 しくは熔成鱗肥、塩化加里用量は跛に少く逃弾量と思加萎縮して大きな薄が出來百質の不足の飼料による懷。智様心掛けて下さい。 『卵を出して出荷に御銘力下の温鰈により整会で全部落石灰窒素。キーマス燐肥若当村に於ける加里肥料の施見て顕常中も。尻略の筋肉であるこの原因は冬期間張して有利に発にして居るそうです。新鮮出された松樹愛馥伐採自施力では多年の香できまり。 非男に十分更に見ま下丁貴、答さず次第に高くなつて参卵はその場で磨いて貰うかって正月をして來たが今年い隨て猫の手も借りたい弥 答さず次第に高くなつて参卵はその場で磨いて貰うかって正月をして來たが今年をは花力能るどとろではな一年中一番安い時季に気を或る組合では余りよごれたら松飾りのかわりに移を飾 上るのを待つて売る様な売さい。

るため一昨年より松代村の正というよりと寄来県非尼回も施す手数も省け又秋落文「面鉄分の不足による加とである体内の脂肪は色が向妊骸にありましては一層よう。そこでこの実験を知用されているので酸皮の矯同施用すれば、各種肥料をかなくこのことからも或は脹れて大きくなつて来るこに備えて貰い度い。「東 である脳の中は便泌して関な飼い方があるとしたら改の増密を今から計画致しまの通りである。

とし特殊の場合(秋落のひ以上の様な調子だと春耕期

七ヶ疾分が下足さるとななりに見ど思いない。 今日、日本の大角には、大きないなど、大角になるのです。 まて着ず、四三ヶけるわけにはいかないが、酸肥料は少くとも反当五世料だからその原料が製品は、シャ六角に対 大きないっことになるので今后は燐 紋後に堆肥は貴重な加里肥大の用心も良く軽使で安全味の强いもの、生米、炭、二五ヶ不足しているということだ。側五分が燐酸分に欠けてい迄に施すようにせられたい特に電池の方が高い様だが頭痛消化器障害等も 題り酸三多がうことになる。併し鉄分がでも松代内の水田では約三得ない、場合の外は必ず代表の中や二階へ上る時などではります。 更に目まい、三分うことになる。併し鉄分がでも松代内の水田では約三得ない、湯への外は必ず代表の中や二階へ上る時などではります。 更に目まい、三分うことになる。併し鉄分がでも松代内の水田では約三得ない。 |ンや六角よりもよい様です|る事もあります。特に発育 ◎今年は火事のない年にしましようク

ユアサ乾電池をお奨めしま因になります。 一を二十七円 背 ۴ 町二九五 天西メ増介ノ 尻である。

下山八五八一凌四ての藤工品を薫幌して関係 池之畑一五四 一六〇 〃 左農協では多期間の副業とし 小屋丸一三五 一六七 〃三 太 平一三六一四三 〃 小荒戸八九二 三一〇 増三 見 九二一七三 八八十年からことになった。 年三三五 三八〇 均至後関と提携して増産運動にしています。 刈一九六 二三八 〃 旦 町三六三 四六〇 域上昭和二十年の生産 野三四 三三 " 旦 玉繩 一四、九一貫 七昭和二十一年の生産 東玉 縄縄 収

玉繩 三三、五七〇貫賞うとか買うとかの心配が 二、五五五枚一来る等杉は松に比べて非常 四、九一一貫「一寸外へ出て新鮮なものをの生産」「探じて歩かなくても飾る時八、八七三枚いらない、又松の様に山を 二三五東 に簡便に手入出來る。良否 はさておき鬼に角全部落が 切つて來てカザることが出

部落名 三至年 三六年 蟾滅十より強こ多くして、ざ見で部落名 三三年 三六年 差別の需要を満たすに足りす村 レット - 。 外より逆に移入している現一松に比べて非常に豊富で 一碗つて今日の生産量は村内一次的結論を出すつもりはな ての歌にあるから他人より ること、移はほとんどすべ いが杉飾りの長所とじては 今此処でよしあしを

力である。 松飾りのそも/~の山來は

伐採されるので木は減る一 育ちが悪るい上に年々歳々 迎えた。松は此の土地では 揃つて門杉を飾つて正月を

▲ 東京ではきれいな卵

を一番好みます

池尻と遜平の一部では昔か

杉の下 ならか

冬季の副業は

昭和二十五年度と二十六年

松代村の産蚕量比較